

平成 28 年 6 月 28 日

プレスリリース

東洋炭素株式会社

「C/C コンポジット製熱処理製品」の国内販売を本格化

—様々なニーズに対応した「機能」を提供。熱処理のトータルコスト削減に寄与—

東洋炭素株式会社（本社：大阪市、社長：小西 隆志、以下「東洋炭素」）は、海外販売で先行する『C/C コンポジット*1製熱処理製品』の国内販売を強化いたします。

現在、金属熱処理等を行う際に使用される熱処理用治具(トレイ・バスケット等)には、金属製品が広く使用されていますが、耐熱性・耐久性に課題があり、金属製品に変わる新しい機能材料のニーズが高まっていました。

こうした中、東洋炭素では、長年にわたり培ったカーボン製造技術を用い、金属製品と比べ重量は約 1/5、高温強度は約 10 倍*2の C/C コンポジット製熱処理炉用製品を開発しました。

また、同時に、顧客毎に異なる使用条件にも柔軟に対応するため、設計から加工・導入までを総合的に提案が行える体制を整備いたしました。

これにより、軽量化における作業効率の向上及び炉詰め効率の改善・エネルギーコスト等削減を図り、「トータルコストの大幅削減」を実現する提案が可能となりました。



三段トレイ



バスケット

今後は、自動車用途をはじめ、産業機械・航空機等部品の金属熱処理用途へ幅広く展開し拡販を図ってまいります。

また、引き続き東洋炭素の蓄積したノウハウ・技術を活用し、顧客ニーズにより対応した製品を提供してまいります。

*1 C/C コンポジット

炭素材料の強度、耐熱衝撃性の向上を目的に、高強度炭素繊維で補強された炭素複合材料です。

*2 比較製品その他

- ・材質：鉄
- ・温度：1,000℃

- ・製品：熱処理トレイ（900 mm×600 mm×40 mm）
- ・電力：トレイ昇温に必要なエネルギー

【製品の特長】

1. 軽量

密度は鉄の 1/5 であり、炉品詰め重量アップによる年間操炉回数の低減が可能となります。

2. 高強度

1000℃で鉄の 10 倍の強度であるため肉薄の設計が可能となります。また、低熱容量であり、昇温に係るエネルギーの低減、CO2 排出削減に貢献します。

3. 超耐熱

非酸化雰囲気では 2000℃でも変形しない等、耐熱性に優れているため、長寿命化が図れるほか、熱処理製品の品質向上も図れます。

【お問い合わせ先】

(製品に関するお問い合わせ)

熱テクノロジーマテリアル事業部

TEL : 06-6472-5849

(本プレスリリースに関するお問い合わせ)

広報・I R 杉岡・播磨

TEL : 06-6472-5815 E-mail : info@toyotanso.co.jp